

！ 浴衣や甚平で夏のお出かけを！ 「大河ドラマ館」で和装割を実施します



豊臣兄弟！ 大和郡山 大河ドラマ館(主催:秀長さんプロジェクト推進協議会)では、和装の来館者を特別料金でお迎えします。

※履物、鞆等の小物のみ和装は対象外です。

期間=8月1日(土)～15日(土) 時間=10時～17時(最終入場16時30分)

場所=DMG MORI やまと郡山城ホール1階展示室

費用(割引後)=大人500円、小・中学生250円※市内在住・在学の小・中学生は8月31日まで無料。

問合せ=秀長さんプロジェクト推進協議会事務局(企画政策課・☎53-1160)

！ 市観光協会主催 秀長さんゆかりの地を巡る日帰りバス旅行(第1弾)



日時=9月15日(火)

行程=9時 JR郡山駅東側ロータリー～(バス)～豊臣兄弟！ 北近江長浜 大河ドラマ館(主催:北近江豊臣博覧会)～(徒歩)～成駒屋(昼食・黒壁スクエア散策)～(バス)～長浜城歴史博物館～(バス)～17時30分頃 JR郡山駅東側ロータリー
定員=45人※申し込みが25人未満の場合は中止。多数の場合は、8月26日(水)10時までに抽選し、結果を奈良交通(株)からメールで通知。

費用=10,000円(バス代・入場料・昼食代・消費税含む。振込手数料は参加者負担)

申込=8月25日(火)までにQRコードで下記へ(1人で2人まで申し込み可)

問合せ=奈良交通(株)本社旅行センター(☎0742-24-1280)

(市観光協会)



市長てくてく城下町246

秀長さんと藤堂高虎

大和郡市長 上田 清

先日行われた歴史トークショーで、天理大学の天野忠幸教授が「秀長は二つの宝物、小堀正次と藤堂高虎を後世に残した」と発言されました。

近江国出身の小堀正次は秀長とは同い歳で長浜城から郡山城に移り、秀長の治政を支えますが、父に従って移り住んだ少年が後の小堀遠州です。

関ヶ原の戦いでは東軍に属し、戦後は江戸幕府のもとで活躍しました。

同じく近江国出身で、秀長の16歳年下の藤堂高虎は、幼い頃から人並み外れた体格と体力で、しかも手をつけられない暴れん坊。

兄が戦死したため13歳で家を継ぎ、初め浅井長政に仕えますが長続きせず、転々としたのち20歳の頃に出会ったのが秀長でした。

身長が190cm近くもあり、武力がすべてと思い込んでいた高虎は、秀長から文化や経済、人と人とのつながりや結束の大切さを教えられ、人生が一変、秀長に心酔するとともに、生涯にわたって全国の城づくりに参画し、黒田官兵衛や加藤清正とともに「築城三名人」と称されたのです。

秀長が52歳の若さで亡くなったあとは養子の秀保、秀保の死後は秀吉に仕えますが、関ヶ原の戦いでは小堀正次と同じく東軍に属し、もともと親交であった徳川家康に接近、江戸幕府では外様の立場でありながらそれこそ家康の懐刀^{ふところがたな}として活躍、家康が亡くなる際には枕元^{はべ}に侍ることを許されるほどの信頼を得ていました。

高虎はその後秀忠、家光にも重用され、草創期の江戸幕府を支えていきますが、考えてみれば、秀長さんとの出会いがなければ高虎の人生は別のものになっていたでしょうし、秀長さんは高虎や小堀正次を通じて江戸幕府を創ったという見方もできるのではないのでしょうか。

家康と良好な関係にあったとされる秀長と二人の家臣。そのつながりは秀長が残した大きな「輪」だったのかもしれません。

大河ドラマ『豊臣兄弟！』も後半に入りました。佳久創さんが演じる藤堂高虎にも是非、注目いただければと思います。